

原料費調整制度に基づく2026年5月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³) (参考)	171.23	156.38	154.18	150.88	142.08	134.38
4月 調整単位料金	164.79	149.94	147.74	144.44	135.64	127.94

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2026年 4月 ^{*1}	2026年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,554	5,747	193

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

*1 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、6円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2025年11月～2026年1月 の平均 (4月検針分)	2025年12月～2026年2月 の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	85,890	86,350	460
LNG	85,940	86,240	300
LPG	81,040	84,220	3,180
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	28,600	29,100	500

- LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	86,240	×	0.9479
+ LPG平均原料価格(貿易統計値)	84,220	×	0.0546

86,345.30

↓(10円未満四捨五入)

86,350 円/t

■原料価格変動額の算定

86,350	円/t	-	57,250	円/t	=	29,100	円/t
--------	-----	---	--------	-----	---	--------	-----

↓(100円未満切捨て)

29,100 円/t

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

単位料金調整額	=	29,100	円		/100円 × 0.0891 ^{*2}
	=	25.92	円 ^{*3}		

*2 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

本体料金(税込)	=	基本料金(1,056.00円)					
	+	調整単位料金(130.46円		+	25.92	円) × 30m ³	
		基準単位料金(税込) ↑			↑ 単位料金調整額(税込)		
	=	5,747	円				・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。